

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31100	女性保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市人権施策推進指針	市長公約	
				款	3	民生費		基本分野	4	福祉・保健		第4次高山市男女共同参画基本計画		
担当課				項	1	社会福祉費		分野	1	地域福祉		実施計画事業		女性保護事業
				目	1	社会福祉総務費		施策概要	2	生活上の不安の解消		H27実施計画額		千円
		内線	2911											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	すべての女性	どうしたいのか(意図)	女性に関するあらゆる相談に応じ、必要な指導及びこれらに付随する業務を行うことにより、女性の権利の擁護と男女平等の実現を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	女性相談員1名の配置 配偶者の暴力などの相談に対する助言・指導、女性相談センターとの連携 女性に関するさまざまな相談に対する助言・指導、他機関との連携
	対象者数	48,065 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	女性相談員による相談業務 DV防止啓発用クリアファイルの配布、DV防止啓発リーフレットの配布							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	女性相談件数	件	目標値	150	150	150	150
		実績(見込)		152	137	150		
	算出根拠等			達成率(%)	101	91	100	
	活動指標	デートDV防止啓発用チラシ作成配付枚数(H24) //クリアファイル作成配布枚数(H25~)	枚	目標値	3,500	650	650	1,100
		実績(見込)		3,500	580	580		
	算出根拠等			達成率(%)	100	89	89	
	活動指標	DV防止啓発リーフレット作成配布枚数	枚	目標値	31,000	31,000	31,000	31,000
		実績(見込)		30,000	30,400	31,000		
	算出根拠等			達成率(%)	97	98	100	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	相談内容が複雑・多様化しており、円滑で迅速な対応を行うためには、警察・女性センターや関連する諸機関との連携強化が必要である。女性に対する暴力や女性保護に対する正しい知識の啓発が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	住民への周知をより進めるため、街頭啓発活動やリーフレットの配布、高校生世代を中心としたリーフレット配布など啓発活動に努める。日常的に情報の交換などを行い、連携を図りながら事業ごとに関係する部局・機関と連携して対応していく。	
次年度の実施方針	○維持・改善	多様化する相談業務に対し、総合相談窓口や法律相談窓口など様々な各種相談窓口との連携により円滑な対応を目指す。また、生活保護、一時保護、障がい、外国人など様々な分野での事業に対応するため、各行政部門のほか学校・警察など関係機関とのより強い連携を図っていく。 女性保護・DV防止など市民への啓発活動を一層進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	511	327	525	709
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,362	2,387	3,500	4,727
	受益者 相談者	(B)	152	137	150	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	・女性相談員の配置による女性問題全般にわたる相談支援 ・「女性に対する暴力をなくす運動」の推進・啓発 ・DV防止のための啓発	要求のポイント	・DV防止啓発用チラシの作成・折込配布	事業実施の課題	・相談件数のうちDV関連事案の占める割合が増加しており、複雑多様化している。警察や女性相談センターなどの関係機関との連携強化が必要である。
------	--	---------	---------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	525	709	184	500	500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	24	24	0	24	24		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	501	685	184	476	476		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32100	留守家庭児童対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健				
担当課	福祉部 子育て支援課		内線 2946	項	2	児童福祉費	実施計画事業	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円	
	目	1		児童福祉総務費	施策概要	4		子育てと仕事の調和がとれる環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校に就学している児童	どうしたいのか (意図)	放課後や長期休暇等に家庭に保護者のいない児童に対し、学習や遊びを通じて健全育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	NPO法人への運営委託による留守家庭児童教室の開設
	対象者数	2,400 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	市内15教室において723人が入室利用 「学童保育すまいる高山」へ平成20年度より継続して事業委託						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	開設箇所数	箇所	目標値	15	15	15	15
			実績(見込)	15	15	15	15
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	100
活動指標	各教室リーダー指導員会議	回	目標値	11	11	11	11
			実績(見込)	11	11	11	11
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	100
活動指標	利用児童数	人	目標値	700	700	700	700
			実績(見込)	656	723	742	742
算出根拠等			達成率(%)	94	103	106	106
活動指標	利用児童数(延べ人数)	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500
			実績(見込)	7,593	8,183	8,000	8,000
算出根拠等			達成率(%)	101	109	107	107
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	増加傾向にある利用者及び障がい児の対応のほか、4年生以上の受け入れや長期休暇、年度当初の一時利用希望など、保護者の多様なニーズがある。子どもの健全育成のため利用児童にみあった指導員の強化が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	留守家庭児童教室の未開設地域(栃尾・荘川)については、地域での対応は困難であり、開設に向け検討を行う。子ども・子育て支援新制度に基づき、指導員等運営基準の条例制定をはじめ、今後の留守家庭児童教室のあり方について検討を行う。	
次年度の実施方針	維持・改善	子ども・子育て支援新制度に基づき、留守家庭児童教室の充実を図りながら、子どもの健全育成と安全な教室運営を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	子ども・子育て支援法に基づきニーズ調査結果等を基に、今後の留守家庭児童教室のあり方を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	56,731	57,143	58,290	73,451
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	86,480	79,036	76,798	95,391
	受益者	利用児童	(B)	656	723	759	770

5 予算編成(Action2)

事業内容	・留守家庭児童教室の開設(15教室) ・土曜開設(6教室)	要求のポイント	・子ども・子育て支援新制度に基づく教室運営等の見直し	事業実施の課題	・今後も留守家庭児童教室のニーズは高まることが予想される。そのため、真にこのサービスが必要な市民に提供できるよう制度の趣旨を周知徹底するとともに、利用者ニーズを把握のうえ、児童受け入れと開設可能場所の状況を確認し、開設方針について検討していく。
------	----------------------------------	---------	----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	58,290	73,451	15,161	71,330	71,330	子ども・子育て支援制度に基づく職員配置等の見直しによる増 ・木育推進のため木のおもちゃ購入費を計上	財務部査定のとおり
国庫支出金			0	13,350	13,350		
県支出金	18,316	23,441	5,125	13,650	13,650		
その他	25,913	27,288	1,375	27,000	27,000		
一般財源	14,061	22,722	8,661	17,330	17,330		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32105	障がい児等体験学習事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健				
担当課	福祉部 子育て支援課	内線 2911	項	目	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	実施計画事業	障がい児等体験学習事業	H27実施計画額	千円
				目	1	児童福祉総務費		施策概要	3				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	障がいのある児童およびその保護者	どうしたいのか(意図)	障がいなどのある児童について、学校の長期休業中における居場所や余暇活動の場を提供することにより、対象児童の社会性を養うとともに、保護者の養育支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	学校の長期休業中に障がい児などを対象とした学童保育を実施できる団体へ業務を委託する。
	対象者数	40人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	学校の長期休業(夏休み・冬休み・学年末)期間中に、障がい児などを対象とした体験教室を高山市社会福祉協議会に委託							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	体験教室開催日数	日	目標値	25	25	25	25
				実績(見込)	25	25	25	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	体験教室参加者(延べ人数)	人	目標値	370	375	375	375
				実績(見込)	304	316	375	
	算出根拠等			達成率(%)	82	84	100	
	活動指標	体験教室参加者(実人数)	人	目標値		40	40	40
				実績(見込)		44	40	
	算出根拠等			達成率(%)		110	100	
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	体験事業の実施について、利用者の安全確保と利用希望者の利用調整、指導員の確保、開催場所の確保が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	NPO法人に委託して、夏休み期間中を中心にきよみ館を主会場に体験活動を行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	事業継続することにより、安全に留意した安定した事業の運営を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	市内で放課後等サービスを提供する事業所が増えてきているため、アンケート結果や利用状況等も踏まえ、本事業の継続の必要性を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,000	1,000	1,000	1,250
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,289	3,165	2,667	3,333
	受益者	(B) 304	316	375	375

5 予算編成(Action2)

事業内容	学校の夏期・冬期・学年末休業期間中に障がい児などを対象とした体験教室を開催	要求のポイント	障がい児などに対する体験学習機会の充実により、児童の健全育成や養育者の負担軽減を図る。	事業実施の課題	・会場の確保など安定した運営を図る。 ・参加希望者の増加や障がいの多様化(重度・多動など)に対応するため、指導員の増員などを図っていく必要がある。
------	---------------------------------------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,000	1,250	250	1,000	1,000	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	50	65	15	50	50		
	一般財源	950	1,185	235	950	950		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32110	母子父子福祉推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内 線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円	
	2911			目	1	児童福祉総務費		施策概要	3			安心して子育てができる環境の整備

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ひとり親家庭の父母	どうしたいのか (意図)	ひとり親家庭における諸問題の相談や指導、および援助を実施することにより、福祉の向上を図る。 ひとり親家庭の父母に資格取得を奨励し、就業の促進と雇用の安定を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	家庭児童相談室に母子自立支援員(兼務)を配置 母子および寡婦世帯などの福祉向上を目的に、母子寡婦福祉会に補助金を交付 母子家庭などの就業支援を目的に、母子家庭就業支援事業補助金を交付
	対象者数	962 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	母子自立支援員が各種相談を受け、指導・援助などの自立支援を実施 母子寡婦福祉会に補助金を交付 母子家庭就業支援事業補助金を交付							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	新規母子父子相談件数	件	目標値	200	200	200	200
				実績(見込)	166	150	200	
	算出根拠等	達成率(%)		83	75	100		
		活動指標	自立支援教育訓練給付金支給件数	件	目標値	5	5	5
	実績(見込)				3	1	5	
	算出根拠等	達成率(%)		60	20	100		
		活動指標	高等職業訓練給付金支給件数	件	目標値	2	1	1
	実績(見込)				0	0	1	
	算出根拠等	達成率(%)		0	0	100		
		成果指標	自立支援教育訓練給付金受給者就職率	%	目標値	100	100	100
	実績(見込)				100	100	100	
算出根拠等	達成率(%)		100	100	100			
	目標値							
実績(見込)								
算出根拠等		達成率(%)						
補足	目標値							
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	ひとり親家庭への各種支援制度(自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金、母子寡婦福祉資金貸付制度(県)、母子家庭等就業支援事業(団体))について、一層の周知を図り利用促進と就業支援を行う。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	母子家庭就業支援事業補助金について、市広報紙、高山市母子寡婦福祉会での広報や対象となる児童扶養手当受給者への広報に努める。 高等職業訓練促進給付金については、市内で唯一の対象施設である看護学校へも制度説明を行うなど周知し、一体となった啓発活動に努める。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	母子家庭就業支援事業については、該当者への個別通知、対象機関との連携などにより、一層の啓発を図り、利用を促進して就業の支援を図る。 母子父子相談事業については、県ひとり親支援センターや県貸付制度など関係機関の連携強化により対応していく。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・高等職業訓練の利用実績が少ないことについての要因を見極め適切に対応する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	514	398	2,156	3,607
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	171,333	398,000	359,333	601,167
	受益者 給付金受給者	(B)	3	1	6	6

5 予算編成(Action2)

事業内容	・母子・父子自立支援員によるひとり親家庭への相談支援 ・ひとり親家庭の就業支援 自立支援教育訓練給付金(1/2 上限100千円) 高等職業訓練促進給付金(100千円/月、学費等300千円) ・高山市母子寡婦福祉会への助成	要求の ポイント	・母子家庭就業支援事業(高等職業訓練促進給付金)の増	事業 実施 の 課題	・母子家庭就業支援事業(自立支援教育訓練給付・高等職業訓練促進給付)については、対象となる世帯への広報活動や関係機関への啓発活動を実施することにより、利用の促進を図る必要がある。
------	--	-------------	----------------------------	---------------------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,156	3,607	1,451	2,956	2,956	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	967	1,854	887	1,592	1,592		
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,189	1,753	564	1,364	1,364		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32115	家庭児童相談室運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画		市長公約
	種別			款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健	実施計画事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円		
	2911			目	1	児童福祉総務費		施策概要	1		子どもが家庭で安全に生活できる環境の整備		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	0歳～18歳までの児童およびその親	どうしたいのか(意図)	児童の養育に関する相談や指導、および援助のほか、児童虐待の早期発見、早期対応、未然防止を図り、子どもの福祉の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	家庭児童相談室に家庭児童相談員を配置し、相談を受ける。
	対象者数	15,569 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	児童虐待通告への対応 家庭における児童養育の相談支援、指導 障がいのある児と、その保護者への相談支援 幼稚園、保育園、小学校への支援の引き継ぎなど関係機関と連携した途切れない支援						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		新規相談受付件数	件	目標値	500	500	500	500
	算出根拠等		実績(見込)	385	316	500		
	活動指標	ネットワーク会議開催回数	回	目標値	30	30	30	30
		算出根拠等		実績(見込)	18	15	30	
	活動指標	家庭児童相談員の幼稚園、保育園訪問回数	回	目標値	28	28	28	28
		算出根拠等		実績(見込)	28	28	28	
	補足	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	相談事例は年々複雑多様化しており、特に発達障がいを含めた障がい関連の事案が増加している。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	子ども相談センターや児童発達支援などの専門機関や健康推進課・保健師との連携を強化し、相談事案に対応していく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	幼稚園、保育園、小中学校などの機関や子ども相談センター、児童発達支援、児童養護施設など子育て支援関係機関との連携を強化して事案に対応していく。 幼稚園、保育園への就園、小学校への就学について、支援が必要な児童への途切れない支援を目指し、円滑な引き継ぎを行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	163	62	327	315
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	423	196	654	630
	受益者 新規相談者	(B)	385	316	500	500

5 予算編成(Action2)

事業内容	・家庭児童相談員の配置による児童の養育に関する相談支援 ・障がい児などに関する相談支援 ・児童虐待防止の啓発 ・児童虐待通報への対応	要求のポイント	・総合相談支援センターなどの連携による相談体制の充実	事業実施の課題	・発達障がい関連の相談・支援が増加しており、保健・福祉・教育の各分野が連携した子どもの成長過程に応じた切れ目のない支援体制の充実が必要である。
------	---	---------	----------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	327	315	△12	327	327	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	327	315	△12	327	327		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32120	児童遊園地管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	施策概要	分野	2		児童福祉	H27実施計画額	千円
	2946			目	1	児童福祉総務費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童及び地域住民	どうしたいのか(意図)	児童遊園地を管理することにより、児童の健全育成・健康増進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	児童遊園地6箇所(東、一本杉、北、松泰寺、王塚、きりう)を管理 町内会設置児童遊園地の賠償責任保険加入
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	市が児童福祉法に基づく児童遊園地6箇所(東・一本杉・北・松泰寺・王塚・きりう)の設置及び管理 町内会が管理する児童遊園地に対する賠償責任保険の加入促進							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	児童福祉法に基づく児童遊園地設置箇所数	箇所	目標値	6	6	6	6
				実績(見込)	6	6	6	6
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	100
	活動指標	児童遊園地賠償責任保険加入件数	件	目標値	147	147	149	150
				実績(見込)	143	149	150	150
	算出根拠等			達成率(%)	97	101	101	101
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	児童福祉法に基づき市が直接管理している児童遊園地と、町内会が管理する児童遊園地があり、管理者に違いはあるものの、子どもが安心して遊べる場の提供は必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	児童遊園地の中には公衆トイレが設置され、児童だけでなく地域住民や高齢者も利用している所もあり、地域の協力を得ながら適正に管理している。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き子どもたちが安全に遊べる場や地域の交流の場として、地域の協力を得ながら適正に管理していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,867	5,068	5,050	5,350
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	52	55	55	58
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・児童福祉法に基づく児童遊園地6箇所(東、一本杉、北、松泰寺、王塚、きりう)の管理 ・町内会設置児童遊園地の賠償責任保険加入(身体1人1億円、1事故10億円)	要求のポイント	・児童遊園地の管理運営	事業実施の課題	・児童遊園地の利用状況調査や児童遊園地設立(土地借上料を含む)経緯の検討結果を踏まえて、管理方針を決定する。
------	--	---------	-------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	5,050	5,350	300	5,050	5,050	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,050	5,350	300	5,050	5,050		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32125	児童福祉施設整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画 高山市第8次保育園整備計画		市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		児童福祉施設整備費助成事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	H27実施計画額	分野	2		児童福祉	千円		
	2947			目	1	児童福祉総務費		施策概要	4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園を運営する社会福祉法人・学校法人等	どうしたいのか(意図)	社会福祉法人等が行う施設整備等への助成を行うことで、県とともに保育を委託する行政の責任を担う。私立保育園の老朽化等に併せて替えや改修を促進し、安全で質の高い保育環境の維持・推進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	社会福祉法人や学校法人に対する施設改修、新築に対する助成
	対象者数	7 法人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	社会福祉法人の施設整備費の義務負担金(債務負担による補助)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	私立保育園大規模改修件数(債務負担含む)	件	目標値	2	2	1	1
				実績(見込)	2	2	1	
				算出根拠等				
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,800	20,700	22,740	25,860
				実績(見込)	20,093	20,813	22,000	
				算出根拠等				
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等				
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等								
成果面			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
成果面			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
補足	達成率(%)		目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					
補足 建築後相当年数を経過した保育園が多く、今後、計画的な改修や建て替えが必要となる。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	建築後相当年数を経過した保育園が多く、今後の計画的な改修や建て替えが必要であるが、中長期的視点に立ち、市全体での保育園利用見込み等を考察した公立・私立を併せた総合的な保育園の整備計画が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	市民・地域の保育ニーズを確認しながら、保育園運営法人とも綿密に連携した計画的な施設整備に努める。今後の保育園等の利用見込み等を考慮した第八次保育園整備計画(5か年計画)を策定する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	低年齢児の受入を推進するための改修を推進することとしており、今後さらに低年齢児が増加した場合、私立保育園でも未満児用トイレや沐浴、調乳設備を新設する必要がある。将来にわたって児童が健やかに育つための環境を確保するため、老朽施設の改修等を積極的に促し、支援をする必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	中・長期視点に立った公立・私立を併せた保育園の整備計画を早急に策定する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	12,800	14,747	2,694	20,415
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,819	8,778	1,481	10,469
	受益者	私立保育園児童(5月1日現在)	(B)	1,637	1,680	1,819

5 予算編成(Action2)

事業内容	・私立保育園改修整備に対する助成	要求のポイント	・私立保育園改修整備の増	事業実施の課題	・建築後相当年数を経過した保育園が多く、後は中長期的視点に立った計画的な改修や建て替えが必要である。
------	------------------	---------	--------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,694	20,415	17,721	21,000	21,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金		13,610	13,610	14,000	14,000		
その他			0				
一般財源	2,694	6,805	4,111	7,000	7,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32130	病児保育事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約		
種別				款	3	民生費		基本分野	4	福祉・保健		実施計画事業		病児保育事業	
担当課	福祉部 子育て支援課			項	2	児童福祉費		分野	2	児童福祉				H27実施計画額	千円
内線	2946			目	1	児童福祉総務費		施策概要	2	子どもが地域で健やかに育つ環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生後6か月から小学校3年生までの児童	どうしたいのか(意図)	病気等の児童を一時的に保育することにより、安心して働く環境の整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	病気が回復しておらず、かつ当面の症状に急変が認められない児童を、専用の施設で一時保育する。
	対象者数	7,200 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	病児保育事業を医療機関に委託し、病気等の児童を一時的に保育することにより、安心して働く環境を提供した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	開設箇所数	箇所	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	利用児童数	人	目標値	900	900	800	850
				実績(見込)	770	785	866	
	算出根拠等			達成率(%)	86	87	108	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	医療機関の協力をいただき、市民に対して事業の趣旨の周知を図りながら、引き続き、安全にサービスを提供していくために、有資格者の確保と運営にかかる支援が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	国の単価に基づき、病児保育事業の利用実績により事業委託料を算出しているが、継続的な運営のための支援策について検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	必要な病児保育サービスが安全に提供できるよう、事業を継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,529	11,574	13,590	13,823
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	14,973	14,744	16,988	16,456
	受益者 利用児童	(B)	770	785	800	840

5 予算編成(Action2)

事業内容	・病児保育事業の医療機関への委託(病児保育室 プティそいいゆ)	要求のポイント	・定員の増により、安心して働きながら子育てができる環境の整備を図る。	事業実施の課題	・利用人数が国基準に達しない場合、事業の安定的継続に支障となるため、利用増に向けたさらなる普及啓発等が必要である。
------	---------------------------------	---------	------------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	13,590	13,823	233	13,740	13,740	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0	4,080	4,080		
	県支出金	8,100	8,163	63	4,080	4,080		
	その他	1,440	1,500	60	1,500	1,500		
	一般財源	4,050	4,160	110	4,080	4,080		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32135	遺児激励金給付事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健				
担当課	福祉部 子育て支援課	内線	2911	項	2	児童福祉費	実施計画事業	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円	
				目	1	児童福祉総務費		施策概要	3	安心して子育てができる環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	親などを亡くした遺児およびその養育者	どうしたいのか(意図)	親などを亡くした遺児に対して、激励金、就職支度金を支給し、遺児の健やかな成長の一助とする。	概要	事業の実施手法(手段)	病気や事故などによって親などを亡くした遺児に対して、毎年激励金を支給する。
	対象者数	150人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	病気や事故などによって親などを亡くした遺児に対して、激励金、就職支度金を支給							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	遺児激励金支給件数	件	目標値	150	150	150	150
				実績(見込)	155	154	145	
				算出根拠等	達成率(%)	103	103	97
	活動指標	交通・火災災害遺児激励金支給件数	件	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	0	0	0	
				算出根拠等	達成率(%)	0	0	0
	活動指標	就職支度金支給件数	件	目標値	9	9	9	9
				実績(見込)	7	11	8	
				算出根拠等	達成率(%)	78	122	89
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	遺児の健全な育成と福祉の増進を図る事業であり、現状を維持していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	遺児の健やかな成長と福祉の増進を図る事業であり、現状を維持する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	遺児の健やかな成長と福祉の増進を図る事業であり、継続実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,095	6,745	7,000	7,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	39,323	43,799	46,667	46,667
	受益者 激励金受給者	(B)	155	154	150	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	・遺児激励金の支給 ・交通・火災災害遺児激励金の支給	要求のポイント	事業実施の課題	・該当児童の把握のために、地区民生児童委員や幼稚園、保育園、小中学校への依頼や、児童扶養手当、児童手当担当部門との連携が必要である。
------	-------------------------------	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,000	7,000	0	7,000	7,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,000		△ 1,000	1,000	1,000		
一般財源	6,000	7,000	1,000	6,000	6,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32140	母子父子福祉センター運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画		市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	母子父子福祉センター運営事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額		千円	
	2911			目	1	児童福祉総務費		施策概要	3		安心して子育てができる環境の整備		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ひとり親家庭	どうしたいのか(意図)	ひとり親家庭における諸問題の相談、指導を行うとともに、生活の支援と福祉の増進を図る	概要	事業の実施手法(手段)	母子父子福祉センターの指定管理委託
	対象者数	962 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		母子父子福祉センターの運営							
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		相談件数	件	目標値	50	50	50	50	
		実績(見込)	54	38	50				
		算出根拠等	達成率(%)	108	76	100			
	活動指標	行事開催回数	回	目標値	15	15	15	15	
		実績(見込)	18	9	15				
		算出根拠等	達成率(%)	120	60	100			
	成果指標	行事参加者数	人	目標値	440	440	440	440	
		実績(見込)	359	205	440				
		算出根拠等	達成率(%)	82	47	100			
				目標値					
				実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)					
			目標値						
			実績(見込)						
			算出根拠等	達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	父子家庭を含めたひとり親家庭への一層の利用の周知が必要である。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	母子寡婦福祉会との連携強化、子どもへの支援事業など事業内容を多様化し、利用の拡大を図る。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	母子寡婦福祉会との連携強化、子どもへの支援事業など事業内容を多様化し、利用の拡大を図る。
	○ 拡大	
二次評価	○ 維持・改善	引き続き指定管理者を通じて適切な施設管理を図る必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,600	6,600	6,790	6,790
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	18,384	32,195	15,432	15,432
	受益者	行事参加者	(B)	359	205	440	440

5 予算編成(Action2)

事業内容	母子父子福祉センターの運営(指定管理者制度)	要求のポイント		事業実施の課題	ひとり親家庭の増加に伴い、母子父子福祉センターの活動・行事への参加促進を図る必要がある。
------	------------------------	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,790	6,790	0	6,790	6,790	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,790	6,790	0	6,790	6,790		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32145	母子保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもやさしいまちづくり計画 高山市人権施策推進指針/第4次高山市男女共同参画基本計画		市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		母子保護事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	1	地域福祉	H27実施計画額	千円			
	2911			目	1	児童福祉総務費		2	生活上の不安の解消					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	母子家庭の児童および母	どうしたいのか (意図)	生活基盤の弱い母子の保護と自立支援のため、母子生活支援施設への入所を委託する。	概要	事業の実施 手法(手段)	母子生活支援施設・清和寮、および市外施設への入所措置
	対象者数	809 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	母子生活支援施設への入所措置							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	入所措置世帯数	世帯	目標値	9	10	12	12
				実績(見込)	10	11	12	
	成果指標	退所世帯数	世帯	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	4	1	5	
	算出根拠等			達成率(%)	111	110	100	
				目標値				
	算出根拠等			達成率(%)	80	20	100	
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
実績(見込)								
算出根拠等			達成率(%)					
			実績(見込)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	離婚の増加による母子家庭の増加と母子世帯の所得水準の低さにより、利用者は増加傾向にある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	委託事業者において、生活基盤の弱い母子家庭について自立しての退所ができるよう支援を行う。	
次年度 の実施方針	○ 維持・改善	継続して実施する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善		
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,299	27,894	48,000	57,858
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,429,900	2,535,818	4,000,000	4,821,500
	受益者 施設入所世帯	(B)	10	11	12	12

5 予算編成(Action2)

事業内容	生活基盤の弱い母子家庭の母親と児童に対しての生活の安定と自立の支援	要求の ポイント	・入所世帯数の増	事業 実施 の 課題	・ひとり親家庭は、仕事と子育ての両立の難しさ、賃金格差などの雇用分野をはじめとした社会が抱える課題の影響を顕著に受けており、関係機関が協力・連携した地域での生活を支援していく取り組みが不可欠である。 ・入所家庭では養育面、経済面などさまざまな問題を抱えていることが多く、それらに対応しながら自立への支援をしていく必要がある。
------	-----------------------------------	-------------	----------	---------------------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	36,000	57,858	21,858	50,000	50,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	17,983	28,908	10,925	24,980	24,980		
	県支出金	8,991	14,454	5,463	12,490	12,490		
	その他	33	40	7	40	40		
	一般財源	8,993	14,456	5,463	12,490	12,490		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32150	子育て短期支援事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約		
種別				款	3 民生費		基本分野	4 福祉・保健		実施計画事業		子育て短期支援事業	
担当課	福祉部 子育て支援課			項	2 児童福祉費		分野	2 児童福祉				H27実施計画額	千円
	内線			目	1 児童福祉総務費		施策概要	3 安心して子育てができる環境の整備					
	2911												

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一時的に養育が困難になった児童および緊急一時的に保護が必要な母子	どうしたいのか(意図)	保護者の疾病などで、一時的に養育困難になった場合の児童の保護、および母子の緊急的な一時保護を児童養護施設などへ委託する。	概要	事業の実施手法(手段)	児童養護施設への委託・短期入所生活援助(ショートステイ) 母子生活支援施設への委託・母子の緊急的な一時保護
	対象者数	96人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	一時的に養育が困難になった場合の児童の保護を委託する。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	短期入所生活援助等利用人数		人	目標値	96	96	96	88
					実績(見込)	57	77	96	
		算出根拠等			達成率(%)	59	80	100	
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	補足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	利用者は増加傾向にあり、緊急一時的な児童の養育の場の確保は必要なものであり、継続していくべきである。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	緊急一時的な保護を優先し、他の一時預かり事業(一時保育、かんかこかん、児童館など)の利用も合わせ、効果的に活用していく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	保護者の精神的疲労など養育環境面での問題を抱えた場合など、家庭児童相談事業との連携を図りながら進めていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 237	294	560	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 4,158	3,818	5,833	5,208
	受益者	(B) 57	77	96	96

5 予算編成(Action2)

事業内容	保護者が一時的に養育が困難となった場合の児童の保護を行う。 ・ショートステイ(平日及び宿泊) ・トワイライト(平日夜間及び日曜・祝日)	要求のポイント	事業実施の課題	・核家族化やひとり親家庭の増加などの社会情勢の変化により利用希望が増加し、事業との調整が必要である。
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	560	500	△ 60	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	186	166	△ 20	166	166		
県支出金	186	166	△ 20	166	166		
その他	1	1	0	1	1		
一般財源	187	167	△ 20	167	167		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32155	障がい児通所支援事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課 目			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	高山市障がい者福祉計画			
担当課	福祉部	子育て支援課	内 線	項	2	児童福祉費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	障がい児通所支援事業	千円
				目	1	児童福祉総務費		施策概要	3	安心して子育てができる環境の整備	H27実施計画額		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	知的障がいや発達障がいなどのある児童	どうしたい のか (意図)	障がい児に対して療育訓練や相談支援を行うことで、児童の社会生活への適応を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	児童発達支援事業所における日常生活訓練などの療育、相談支援を行う。 事業利用者への自己負担助成の実施
	対象者数	302 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	児童発達支援事業所における日常生活訓練などの療育、相談支援を行う。 事業利用者への自己負担助成の実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	児童発達支援施設延べ利用者数	人	目標値	7,920	9,300	10,400	15,950
				実績(見込)	8,134	9,857	10,400	
				算出根拠等	達成率(%)	103	106	100
	活動指標	ゆりのこなど延べ利用者数	人	目標値	840	1,410	1,410	2,190
				実績(見込)		536	1,410	
				算出根拠等	達成率(%)		64	100
	活動指標	地域療育スタッフ支援回数	回	目標値	5	9	3	3
				実績(見込)	5	8	3	
				算出根拠等	達成率(%)	100	89	100
	活動指標	児童発達支援関係者会議開催回数	回	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	8	8	10	
				算出根拠等	達成率(%)	80	80	100
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	早期療育に対応するための関係機関の連携が必要となってくる。
---------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	療育関係機関による療育指導の検討や情報交換により連携を強化していくとともに、各種会合や研修参加などへの取組みにより資質向上に努めていく。	
次年度 の実施方針	○維持・改善	乳幼児期における健診、相談から早期集団療育、児童発達支援へとつなげていく地域療育の体制を整備する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	児童発達支援事業所の今後の運営主体や運営手法等について見直す検討が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	78,720	95,235	181,700	229,973
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,678	9,163	15,385	13,718
	受益者	サービス利用児童	(B)	8,134	10,393	11,810	16,764

5 予算編成(Action2)

事業内容	・障がい児への療育事業や相談事業により、児童および保護者への支援を行う。 ・早期集団療育事業の実施 ・地域療育推進のためのスタッフ支援 ・障害児通所支援給付費の支給	要求の ポイント	・放課後等デイサービス事業所、利用児童の増加への対応	事業実施 の課題	・発達障がいや重症心身障害児の増加に対応するため、適切な時期に適切な支援を実施するとともに、 個々のサービスの質の確保と充実に向けた検討が必要である。 ・乳幼児期から就学前まで子どもの成長過程に応じた切れ目のない支援をするため、保健・福祉・保育・教育など各機関の連携を強化する必要がある。
------	---	-------------	----------------------------	-------------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	145,700	229,973	84,273	211,800	211,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	55,000	94,581	39,581	83,400	83,400		
	県支出金	27,500	47,290	19,790	41,700	41,700		
	その他	36,990	38,117	1,127	16,143	16,143		
	一般財源	26,210	49,985	23,775	70,557	70,557		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32165	障がい児居宅支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画 高山市障がい者福祉計画		市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	障がい児居宅支援事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内線 2911	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額		千円	
	目	1		児童福祉総務費	施策概要	3	安心して子育てができる環境の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	障害者総合支援法の対象となる児童	どうしたいのか (意図)	障害者総合支援法による福祉サービスの給付を行うことにより、障がい児を養育する家庭への支援を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	障害者総合支援法による福祉サービスの給付、および利用者負担金の助成
	対象者数	151人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	障害者総合支援法による福祉サービスの給付、および利用者負担金の助成 対象事業:短期入所、日中一時支援、行動援護、移動支援							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	短期入所利用延べ人数	人	目標値	60	84	72	180
				実績(見込)	59	105	72	
	算出根拠等			達成率(%)	98	125	100	
	活動指標	日中一時支援利用延べ人数	人	目標値	1,560	1,620	1,542	1,332
				実績(見込)	1,755	1,532	1,542	
	算出根拠等			達成率(%)	113	95	100	
	活動指標	行動援護利用延べ人数	人	目標値	7	0	0	16
				実績(見込)	1	2	0	
	算出根拠等			達成率(%)	14			
	活動指標	移動支援利用延べ人数	人	目標値	0	10	10	10
				実績(見込)	4	15	10	
	算出根拠等			達成率(%)		150	100	
	活動指標	看護支援利用延べ人数	人	目標値	10	10	18	18
実績(見込)				1	12	18		
算出根拠等			達成率(%)	10	120	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	福祉サービスの内容や時期(学校の休業日など)により、利用者が増加する傾向がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	高山赤十字病院、山ゆり学園における短期入所事業の利用啓発に努める。 計画相談支援事業の利用により、効果的な福祉サービス利用を進める。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	継続して実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,785	4,863	7,100	7,375
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,629	2,919	4,324	4,491
	受益者	サービス利用者	(B)	1,820	1,666	1,642	1,642

5 予算編成(Action2)

事業内容	・障害者総合支援法による福祉サービスの給付と利用者負担の助成 ・医療行為を必要とする障がい児に対する訪問看護による看護支援の提供	要求のポイント	事業実施の課題	・重症心身障がい児を対象とした短期入所などの福祉サービスへの要望が高まっている。 ・ショートステイ実施事業所の受け入れ体制の整備
------	---	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	7,100	7,375	275	6,100	6,100	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	3,050	3,092	42	2,600	2,600		
	県支出金	1,525	1,546	21	1,300	1,300		
	その他			0				
	一般財源	2,525	2,737	212	2,200	2,200		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32170	つどいの広場運営事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業			
担当課	福祉部 子育て支援課		内 線 2946	項	2	児童福祉費	分 野	2	児童福祉		H27実施計画額	千円	
	目	1		児童福祉総務費	施策概要	2		子どもが地域で健やかに育つ環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	乳幼児親子(3歳児までの親子)	どうしたいのか(意図)	地域で子育てに関する相談が気軽にできる場所を整備することにより、悩み事や心配事の早期解消を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	空き店舗や支所を活用し、子育て中の親子が身近な地域で集える場所を設定し、気軽に相談等できる子育て支援の場を提供する。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	つどいの広場を設置し、子育てコーディネーターを配置しながら、地域で子育てに関する相談が気軽にできる場所を整備することにより、悩み事や心配事の早期解消を図った。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	つどいの広場箇所数	箇所	目標値	11	11	11	11
				実績(見込)	11	11	11	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	子育てコーディネーター登録人数	人	目標値	43	43	45	45
				実績(見込)	37	45	46	
	算出根拠等			達成率(%)	86	105	102	
	活動指標	つどいの広場利用者数(延べ)	人	目標値	30,000	30,000	40,000	40,000
				実績(見込)	40,960	39,036	39,000	
	算出根拠等			達成率(%)	137	130	98	
	活動指標	子育てコーディネーター参加回数(延べ)	回	目標値	1,040	1,040	1,040	1,482
				実績(見込)	1,013	1,036	1,040	
算出根拠等			達成率(%)	97	100	100		
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	市内11か所のつどいの広場はニーズが高まっている一方、支所や子育てコーディネーターの役割が重要となっている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	子育てコーディネーターの交流会やスタッフ研修等を通じた資質向上と支所等関係者と情報を共有しながら、つどいの広場事業を充実させる。			
次年度の 実施方針	担 当 課 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	子ども・子育て支援法に基づく利用者支援など、子育て支援拠点として、つどいの広場の充実を図る。	
	二 次 評 価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討		必要なサービスを安全に提供できるよう努める必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	8,089	8,158	9,520	13,925
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	197	209	238	348
	受益者	つどいの広場利用者	(B)	40,960	39,036	40,000	40,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	つどいの広場開設 11か所 ・高山地域 1か所 まちひとぶら座かかんこかん(委託) ・支所地域 10か所	要求のポイント	子育て支援拠点の充実	事業実施の課題	
------	--	---------	------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	9,520	13,925	4,405	9,260	9,260	・積算内容を精査 ・つどいの広場の箇所数を増11→12か所	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	2,357	3,089	732	2,670	2,670		
	県支出金	2,857	3,089	232	2,670	2,670		
	その他			0				
	一般財源	4,306	7,747	3,441	3,920	3,920		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32175	ブックスタート事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課税			款	3	民生費		基本分野	4	福祉・保健			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	H27実施計画額	分野	2	児童福祉	千円		
	2946			目	1	児童福祉総務費		施策概要	2	子どもが地域で健やかに育つ環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	4か月児、1歳6か月児及びその養育者	どうしたいのか(意図)	4か月児、1歳6か月児に絵本を配付することにより親子のふれあいを促進し、子どもが心豊かに育つ環境整備を図る	概要	事業の実施手法(手段)	出生まもない児童をもつ家庭に絵本をプレゼントすることを通して、絵本に親しむ子育てを推進し、絵本を通して子どもたちに深い愛情をもって接することで、子どもたちが心豊かに育つ環境整備を図る。
	対象者数	1,600 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		4か月児(4か月健診後、5冊のうちから1冊)、1歳6か月児(1歳6か月健診後「本はともだち」時、10冊のうちから1冊)に絵本を配付する。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	4か月児絵本配付冊数	冊	目標値	772	736	850	750
		実績(見込)	771	732	850			
	算出根拠等			達成率(%)	99.8	99.4	100	
	活動指標	1歳6か月児絵本配付冊数	冊	目標値	788	746	850	750
		実績(見込)	611	588	850			
	算出根拠等			達成率(%)	77.5	78.8	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	当事業は、ボランティア等の協力による読み聞かせの機会を提供するとともに、市ブックスタート運営委員会により選書した絵本を最小限のコストで効果的に配付している。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		引き続き、最小限のコストで子どもたちに最適な絵本の選定を行い、絵本に親しむ機会を提供しながら絵本を配付する。		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	最小限のコストで、子どもたちに最適な絵本の選定を行い、絵本に親しむ機会を提供しながら、絵本を配付する。	
		縮小		
	○ 維持・改善	拡大		当事業の効果分析と効率的な配付方法を検討する必要がある。
		縮小		
		廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,037	1,143	1,700	1,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 750	866	1,000	1,000
	受益者	(B) 対象児童及びその養育者	1,382	1,320	1,700

5 予算編成(Action2)

事業内容	・4か月児、1歳6か月児を対象とした読み聞かせ会の開催と絵本の配付により、親子のふれあいの促進と子どもが心豊かに育つ環境整備を図る。	要求のポイント		事業実施の課題	
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,700	1,600	△ 100	1,500	1,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,700	1,600	△ 100	1,500	1,500		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32180	子育て支援金給付事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	
	課			款	3 民生費		基本分野	4 福祉・保健		実施計画事業		子育て支援金給付事業
担当課	福祉部 子育て支援課			項	2 児童福祉費		分野	2 児童福祉				
	内線			目	1 児童福祉総務費		施策概要	2 子どもが地域で健やかに育つ環境の整備				
	2946											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	出産間もない親	どうしたいのか(意図)	子育て家庭に対する経済的支援により、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	子育て家庭に対して経済的支援を行うことにより、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。出産から育児までの子育てに係る経済的負担の軽減
	対象者数	720 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	子育て家庭に対して、子育て支援金を支給。趣意書カードを作成、子どものために、地域経済の活性化のために地元の商店でご利用いただくよう、一人ひとりに面談の上説明した。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	子育て支援金支給人数		人	目標値	850	850	850	750
		実績(見込)				748	721	720	
		算出根拠等			達成率(%)		88	85	85
	成果指標	合計特殊出生率		指数	目標値				
		実績(見込)				1.66	未公表	未公表	
		算出根拠等			達成率(%)				
				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
				目標値					
	実績(見込)								
算出根拠等			達成率(%)						
			目標値						
実績(見込)									
算出根拠等			達成率(%)						
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	申請案内を4か月検診案内に同封するなどコスト削減を図り、効率的に事業を実施している。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査結果等も踏まえながら、必要なサービスの提供等、子育て支援金の事業の見直しを検討する。	
次年度の実施方針	維持・改善 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 廃止検討	第八次総合計画・子どもにやさしいまちづくり計画などに基づき、子育て世帯に対する経済的負担の軽減の見直しを行う。
	二次評価 維持・改善 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 廃止検討	より優先すべき施策へ財源を振り替えるなど、廃止を含めた見直しの検討が必要である。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	88,100	85,400	95,000	85,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	117,781	118,447	111,765	118,056
	受益者	支援金受給者	(B)	748	721	850	720

5 予算編成(Action2)

事業内容	・子育て家庭に対する経済的支援により、産み育てやすく安心して子育てできる環境整備を行う。 1・2人目 100千円/人、3人目以降 200千円/人	要求のポイント		事業実施の課題	・事業の見直しも含めた検討
------	---	---------	--	---------	---------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		95,000	85,000	△ 10,000	90,000	90,000	・積算内容を精査 ・多子世帯に対する経済支援とし、平成28年1月以降の出生者からは第3子以降を支給対象とする	・平成27年度は現行制度を継続するが、より効果的な支援を検討する
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	95,000	85,000	△ 10,000	90,000	90,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32190	子どもにやさしいまちづくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		子どもにやさしいまちづくり推進事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費		分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円	
	2946			目	1	児童福祉総務費		施策概要	2	子どもが地域で健やかに育つ環境の整備			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか (意図)	子どもにやさしいまちづくり計画を実施し、子どもを生き育てやすい環境づくりの推進	概要	事業の実施手法(手段)	次世代育成支援行動計画及び子ども・子育て新制度に基づく関連事業の推進 子どもにやさしいまちづくり推進委員会や子育て支援スタッフ研修会の開催 子育て支援団体に対するリフレッシュ保育等事業費助成 子育てに関する冊子作成
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	子どもにやさしいまちづくり推進委員会の開催 子育て支援スタッフ養成のための研修会の開催 子育て支援団体に対するリフレッシュ保育等事業費助成						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	子どもにやさしいまちづくり推進委員会開催回数	回	目標値	1	1	2	1
				実績(見込)	1	2	2	
	算出根拠等			達成率(%)	100	200	100	
	活動指標	子育て支援スタッフ研修開催回数	回	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	10	10	10	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	子育て便利帳作成配付数	冊	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績(見込)	3,000	3,000	3,000	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	リフレッシュ保育等事業費補助団体数	団体	目標値	16	16	16	16
				実績(見込)	16	17	17	
	算出根拠等			達成率(%)	100	106	106	
				目標値				
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	子どもにやさしいまちづくり計画の後期計画(平成26年度まで)の分析と、子ども・子育て支援法に基づき、次期計画を策定する。																		
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="4">必要な子ども・子育て支援を実施する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="4">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○維持・改善	必要な子ども・子育て支援を実施する。		拡大		縮小		廃止検討	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討
	担当課評価	○維持・改善	必要な子ども・子育て支援を実施する。																
		拡大																	
		縮小																	
	廃止検討																		
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																	
	拡大																		
	縮小																		
	廃止検討																		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,216	4,346	4,683	4,926
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	35	47	51	54
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	次世代育成支援行動計画及び子ども子育て新制度に基づく関連事業の推進 ・子どもにやさしいまちづくり推進委員会や子育て支援スタッフ研修会の開催 ・子育て支援団体に対するリフレッシュ保育等事業費助成 ・子育てに関する冊子作成	要求のポイント	・子育て家庭や乳幼児親子のサークル、子育て支援団体等に対する各種支援による、子どもを産み育てやすい環境整備の推進	事業実施の課題	・平成27年度からの新たな子どもにやさしいまちづくり計画に基づく各種事業の実施
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,563	4,926	363	4,300	4,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,563	4,926	363	4,300	4,300		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32200	保育施設等給付事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画 高山市第8次保育園整備計画		市長公約
	課			3	民生費	4		福祉・保健	実施計画事業		保育施設等給付事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2		児童福祉	H27実施計画額	千円	
	2947			目	2	児童保育費		4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児童(5月1日現在)	どうしたいのか (意図)	市内の私立保育園(16園)をはじめとする特定教育・保育施設や特定地域型保育事業に保育や教育を委託し、保護者の就労等により保育の必要な児童を安全に保育し、健やかな成長を図るために必要な保育士等を配置し、自園での給食提供を行うなど子育て世帯への支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	特定教育・保育施設や特定地域型保育事業に対して、国の公定価格に基づき、施設の規模や児童の年齢、事業内容に応じた委託料(負担金)を支払う。
	対象者数	1,950 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	私立保育園(14園)に対して、国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	私立(認可)保育園数	園	目標値	13	14	15	16
		実績(見込)		13	14	15		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,800	20,700	22,740	25,860
		実績(見込)		20,093	20,813	22,000		
	算出根拠等			達成率(%)	101	101	97	
	成果指標	市内事業所における正社員の割合	%	目標値				
		実績(見込)		64	68	68		
	算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)				
	成果指標	市内事業所における女性従業員の割合	%	目標値				
		実績(見込)		51	50	50		
	算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	算出根拠等		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	市では、公立保育園の民間移譲を推進しており、民間移譲が進めば今後この事業は拡大していくこととなる。年々低年齢児の受け入れが増加しており、委託料が増加傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		国の保育単価に基づき、園の規模や児童の年齢、事業内容に応じた保育委託料を支払う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	継続して実施する。	拡大
	○維持・改善		縮小
	○維持・改善		廃止検討
	○維持・改善		維持・改善
二次評価		(担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,169,150	1,256,203	1,447,200	1,689,258
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	714,203	747,740	795,602	866,286
	受益者	私立保育園児童(5月1日現在)	(B)	1,637	1,680	1,819

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特定教育・保育施設(市内私立保育園16園)に対する委託料 特定地域型保育事業(小規模保育)に対する負担金 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援新制度への対応 公立保育園の民間移譲に伴う増 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 現在示されている公定価格による委託料は、従前の保育所運営費等と比較して大きく下回るため、法人の運営への影響が懸念される。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	1,447,200	1,689,258	242,058	1,753,000	1,753,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	398,340	470,960	72,620	498,400	498,400		
	県支出金	199,170	232,465	33,295	249,200	249,200		
	その他	255,234	298,357	43,123	306,000	306,000		
	一般財源	594,456	687,476	93,020	699,400	699,400		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32210	私立保育所運営費等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約	社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的な保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めます。
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	高山市第8次保育園整備計画				
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	実施計画事業	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	私立保育所運営費等助成事業	千円	
	2947			目	2	児童保育費		施策概要	4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育所等を運営する社会福祉法人・学校法人等	どうしたいのか(意図)	社会福祉法人等に対する運営費等の助成を行うことにより、法人の運営基盤の安定・強化を図る	概要	事業の実施手法(手段)	私立保育所の運営費等に対する助成
	対象者数	7 法人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	4月1日の入園児数に応じ、運営費を助成 私立保育所職員の共済掛金(退職積立)の事業主負担の助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	私立保育園保育士数	人	目標値	280	280	320	330
		実績(見込)	264	272	280			
	算出根拠等			達成率(%)	94	97	88	
	活動指標	私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	19,800	20,700	22,000	23,400
		実績(見込)	20,093	20,813	22,000			
	算出根拠等			達成率(%)	101	101	100	
	活動指標	私立(認可)保育園数	園	目標値	13	14	15	16
		実績(見込)	13	14	15			
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	市内事業所における正社員の割合	%	目標値				
		実績(見込)	64	68	68			
算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)					
成果指標	市内事業所における女性従業員の割合	%	目標値					
	実績(見込)	51	50	50				
算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	私立保育園の実態把握に努める必要がある。
-----------------	----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	私立保育園の実態把握に努めるとともに、各保育園運営法人とも綿密に協議しながら必要な支援の方針を検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	私立保育園の実態把握に努め、認定こども園への対応を含めた子ども・子育て支援新制度に対応し、私立保育園を円滑に運営できるよう総合的に補助金制度の見直しを行っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,567	45,621	52,880	28,464
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10,120	27,155	29,071	14,597
	受益者	私立保育園児童(5月1日現在)	(B)	1,637	1,680	1,819

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 私立保育所運営費に対する助成 年間共済掛金に対する助成 通園バスの購入に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心子ども基金を財源とした処遇改善事業補助金の終了に伴う減 通園バスの購入に対する助成 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 現在示されている公定価格による委託料は、従前の保育所運営費等と比較して大きく下回るため、法人の運営への影響が懸念される。 保育士の確保が困難となっており、有資格者登録制度の周知や処遇改善の促進等により、確保を図る必要がある。
------	---	---------	--	---------	---

財源内訳	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	52,880	28,464	△ 24,416	28,465	28,465		
	国庫支出金	24,000		△ 24,000			・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	県支出金	4,000		△ 4,000				
	その他			0				
一般財源	24,880	28,464	3,584	28,465	28,465			

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32220	私立保育所保育サービス支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画／高山市第8次保育園整備計画		市長公約
	課			3	民生費	4		福祉・保健	実施計画事業		私立保育所保育サービス支援事業		
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円		
	2947			目	2	児童保育費		4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	私立保育園児童(5月1日現在)	どうしたいのか (意図)	保護者の就労形態の変化に伴う保育ニーズの多様化に対応するため、私立保育園等における長時間保育や障がい児保育、一時保育、年度途中の低年齢児受入の実施のための保育士の配置に対する助成を行うことにより保育サービスの充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	各種保育サービスの実施に必要な人件費に対する助成
	対象者数	1,950 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育実施のための人件費に対する助成 低年齢児保育実施のための人件費に対する助成 障がい児保育実施のための人件費に対する助成 一時保育実施のための人件費に対する助成 						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	私立の延長保育利用人数	人	目標値	25,000	27,000	40,000	40,000
		実績(見込)			33,998	37,495	40,000	
		算出根拠等		達成率(%)	136	139	100	
	活動指標	一時保育延べ利用人数(私立のみ)	人	目標値	2,760	2,900	3,000	3,300
		実績(見込)			2,766	2,664	3,000	
		算出根拠等		達成率(%)	100	92	100	
	活動指標	一時保育実施保育園数	園	目標値	7	8	9	9
		実績(見込)			7	8	9	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
成果指標	市内事業所における正社員の割合	%	目標値					
	実績(見込)			64	68	68		
	算出根拠等	市労働実態調査	達成率(%)					
成果指標	市内事業所における女性従業員の割合	%	目標値					
	実績(見込)			51	50	50		
	算出根拠等	市労働実態調査	達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	保護者の就労形態の多様化に伴い、早朝から夕方までの保育ニーズに対応するため、13時間保育の可能性について検討を行うとともに、必要な施設改修の実施等の検討を行う必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	市民ニーズの把握に努める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	市民ニーズと私立保育園の実態把握に努め、認定こども園への対応を含めた子ども・子育て支援新制度に対応し、私立保育園を円滑に運営できるよう総合的に補助金制度の見直しを行っていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	116,250	133,335	149,165	109,372
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	71,014	79,366	82,004	56,088
	受益者	私立保育園児童(5月1日現在)	(B)	1,637	1,680	1,819

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特別保育サービス(延長保育、低年齢児保育、障がい児保育、一時保育)の実施に必要な人件費に対する助成	要求のポイント	・子ども・子育て支援新制度への対応 ・公立保育所の民間移譲に伴う増 ・障がい児や低年齢児の保育ニーズの増	事業実施の課題	・低年齢児の受け入れや障がい児の増加に対応するための計画的な保育士の確保を行っていく必要がある。
------	--	---------	--	---------	--

財源内訳	事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	149,165	109,372	△ 39,793	103,450	103,450	・積算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
	国庫支出金	2,990	5,085	2,095	12,736	12,736		
	県支出金	71,847	31,400	△ 40,447	22,856	22,856		
	その他			0				
	一般財源	74,328	72,887	△ 1,441	67,858	67,858		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32300	公立保育園運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画 高山市第8次保育園整備計画		市長公約	社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的な保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めま
	課			3	民生費	4		福祉・保健	実施計画事業		公立保育園運営事業			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額	千円			
	2947			目	3	保育園費		4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公立保育園児童(5月1日現在)	どうしたいのか(意図)	公立保育園(へき地保育所を含む)9園で、保護者の就労等により家庭で保育に欠ける児童を安全に保育し、健やかな成長を担う。必要な保育士を配置し、自園での給食提供を行い、保育園として子育て世帯への支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	公立保育園の運営 老朽化した保育園の安全確保のための改修、保育・給食備品の更新など 公立保育園の民間移譲に向けての保育内容の引継ぎ等の準備
	対象者数	650人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	公立保育園(11園)の運営							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	公立保育園数	園	目標値	11	11	10	9
		実績(見込)			11	11	10	
	活動指標	公立保育園延べ保育児童数	人	目標値	13,320	13,320	10,000	7,800
		実績(見込)			11,330	11,271	10,000	
	成果指標	市内事業所における正社員の割合	%	目標値				
		実績(見込)			64	68	68	
	成果指標	市内事業所における女性従業員の割合	%	目標値				
		実績(見込)			51	50	50	
	補足	算出根拠等		達成率(%)				
		市労働実態調査						
	補足	算出根拠等		達成率(%)				
市労働実態調査								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した保育園の計画的な修繕の実施 受け入れ年齢等の見直し、13時間保育の実施の検討
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		破損個所の修繕
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の民間移譲に向けた調整を実施する。 移譲も考慮した全体の修繕・改修計画を作成する。 正規職員と臨時職員のバランスに配慮した職員配置を行う。
	○維持・改善	
二次評価	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の民間移譲に向けた調整を着実に実施していく必要がある。 移譲も考慮した全体の修繕・改修計画を早急に作成する必要がある。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	313,195	414,576	375,917	296,911
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	337,859	444,347	487,571	456,786
	受益者	公立保育園児童(5月1日現在)	(B)	927	933	771

5 予算編成(Action2)

事業内容	公立保育園(9園)の運営	要求のポイント	公立保育園の民間移譲に伴う減	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児の受け入れや障がい児の増加に対応するための計画的な保育士の確保を行っていく必要がある。 老朽化した施設の安全確保のための改修や備品の更新を随時実施するとともに、多様化する保育ニーズへの対応を図っていく必要がある。
------	--------------	---------	----------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	345,917	296,911	△ 49,006	222,500	222,500	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	986	2,981	1,995	2,981	2,981		
	県支出金	986	2,981	1,995	2,981	2,981		
	その他	137,751	106,706	△ 31,045	108,543	108,543		
	一般財源	206,194	184,243	△ 21,951	107,995	107,995		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32310	休日保育事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	高山市第8次保育園整備計画			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費		分野	2	児童福祉	実施計画事業	休日保育事業	
	2947			目	3	保育園費		施策概要	4	子育てと仕事の調和がとれる環境の整備		H27実施計画額	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公・私立保育園児童及び保護者(市内の認可保育園利用児全員・5月1日現在)	どうしたいのか(意図)	保護者の就労形態の多様化に伴い、岡本保育園において休日の保育を実施することにより、安心して子どもを預けることができる環境を整える。	概要	事業の実施手法(手段)	公立保育園(岡本保育園)での休日保育の実施 市内の認可保育園に入園している児童すべてを対象としている。
	対象者数	2,600 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	公立保育園(岡本保育園)での休日保育の実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	休日保育利用人数	人	目標値	500	600	600	600
		実績(見込)	694	693	700			
	算出根拠等			達成率(%)	139	116	117	
	活動指標	公立・私立保育園延べ保育児童数	人	目標値	31,600	34,020	32,000	31,200
		実績(見込)	31,423	32,084	32,000			
	算出根拠等			達成率(%)	99	94	100	
	成果指標	市内事業所における正社員の割合	%	目標値				
		実績(見込)	64	68	68			
	算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)				
	成果指標	市内事業所における女性従業員の割合	%	目標値				
		実績(見込)	51	50	50			
算出根拠等		市労働実態調査	達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	算出根拠等		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	今後さらに利用者が増加する可能性があることから、休日保育のあり方について検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	利用状況を調査し、休日保育のあり方について検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	市民ニーズを確認するとともに、保育サービスに対する評価を行ったうえで、休日保育のあり方について検討する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,331	1,382	1,510	1,566
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	519	529	583	602
	受益者 公・私立保育園児童(5月1日現在)	(B)	2,564	2,613	2,590	2,600

5 予算編成(Action2)

事業内容	・日曜・祝祭日における保育の実施 岡本保育園 7:30~18:30	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,510	1,566	56	1,500	1,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	673		△673				
その他	500	500	0	500	500		
一般財源	337	1,066	729	1,000	1,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32330	通園バス運行事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画 高山市第8次保育園整備計画		市長公約		
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健	実施計画事業		通園バス運行事業				
担当課	福祉部 子育て支援課			項	2	児童福祉費		分野	2			児童福祉	H27実施計画額		千円	
	内線			目	3	保育園費		施策概要	4			子育てと仕事の調和がとれる環境の整備				
			2947													

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公立保育園児童(5月1日現在)	どうしたいのか(意図)	通園バスを運行することにより、保育園への遠隔地域からの通園手段を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	通園バスの運行・維持管理
	対象者数	650 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	通園バスの運行(こま草、久々野、朝日、高根) こま草保育園通園バスの更新								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	通園バスの運行台数		台	目標値	4	4	3	3
		実績(見込)				4	4	3	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	公立保育園延べ保育児童数		人	目標値	13,320	13,320	10,000	7,800
		実績(見込)				11,330	11,271	10,000	
	算出根拠等			達成率(%)	85	85	100		
	活動指標	バスの購入(更新)		台	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)				1	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	市内事業所における正社員の割合		%	目標値				
		実績(見込)				64	68	68	
	算出根拠等			達成率(%)					
	成果指標	市内事業所における女性従業員の割合		%	目標値				
		実績(見込)				51	50	50	
	算出根拠等			達成率(%)					
補足				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	通園バスのない園があることも考慮し、今後は利用者負担(使用料徴収)について検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	公立保育園の民間移譲に合わせて、利用者負担を設定する必要がある。 公共交通の有効活用により、通園バス運行経費の削減の検討が必要である。	
次年度の実施方針	○維持・改善	通園バスを運行することにより、保育園への遠隔地域からの通園手段を維持する。 公共交通の有効活用について検討を行う。(対象:久々野、朝日、高根)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	通園バスがない園があることも考慮し、利用者負担又は公共交通の活用について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,075	7,073	8,165	8,423
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	271	628	817	1,080
	受益者	公立保育園児童(保護者)	(B)	11,330	11,271	10,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・通園バスの運行・維持管理 久々野、朝日、高根保育園	要求のポイント	・老朽化に伴う通園バスの更新	事業実施の課題	・市町村合併以前からの運営形態が続いており、利用方法について検討する必要がある。 ・通園バスがない園があることを考慮し、利用者負担について検討する必要がある。
------	-------------------------------	---------	----------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,165	8,423	258	9,500	9,500	・精算内容を精査 ・通園バスの更新に必要な事業費を計上 ・通園バスへの補助員添乗に必要な事業費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	8,165	8,423	258	9,500	9,500		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32400	児童センター等運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画		市長公約
	課			3	民生費	基本分野		4	福祉・保健		実施計画事業	児童センター等運営事業	
担当課	福祉部 子育て支援課		内線	項	2	児童福祉費	分野	2	児童福祉	H27実施計画額		千円	
	2946			目	4	児童センター費		施策概要	2		子どもが地域で健やかに育つ環境の整備		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか (意図)	健全な遊びを提供することにより、児童の健康を推進するとともに情操豊かな成長を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	児童センター・児童館の設置、運営委託 (昭和・城山・山王児童センター、ふれあい・国府児童館)
	対象者数	15,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	児童センター等運営委託 昭和・城山・山王児童センター、ふれあい児童館 (指定管理者制度) 国府児童館の管理運営						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	昭和、城山、山王児童センター及びふれあい児童館 利用者数	人	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000
	実績(見込)			74,454	74,322	75,000	
算出根拠等			達成率(%)	106	106	107	
活動指標	昭和、城山、山王児童センター及びふれあい児童館 各種事業の実施回数	回	目標値	570	570	570	570
	実績(見込)			596	573	570	
算出根拠等			達成率(%)	105	101	100	
活動指標	国府児童館 利用者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績(見込)			13,908	12,179	15,000	
算出根拠等			達成率(%)	93	81	100	
活動指標	国府児童館 各種事業の実施回数	回	目標値	50	50	50	50
	実績(見込)			83	83	50	
算出根拠等			達成率(%)	166	166	100	
補足			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	利用者のニーズ調査の結果を踏まえて、より細やかなサービスの提供に努めていく。 利用者のニーズに応じた、細やかなサービスを安全に提供していく。 国府児童館内で実施している留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法について検討が必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	指定管理者制度により、利用者のニーズ調査の結果を踏まえて、より細やかなサービスの提供に努めていく。 利用者のニーズに応じた、細やかなサービスを安全に提供していく。 国府児童館以外での留守家庭児童教室の開設と国府児童館の運営方法について検討する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	指定管理者制度により、利用者のニーズ調査の結果を踏まえて、より細やかなサービスの提供に努めていく。 利用者のニーズに応じた、細やかなサービスを安全に提供していく。
	○ 拡大	
二次評価	○ 維持・改善	国府児童館の運営方法について検討する必要がある。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	64,019	64,339	70,368	69,211
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	725	744	828	814
	受益者 児童センター等利用者	(B)	88,362	86,501	85,000	85,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	児童センター・児童館の管理運営 ・昭和・城山・山王児童センター、ふれあい児童館 (指定管理者制度) ・国府児童館(直営)	要求のポイント	事業実施の課題
			・国府児童館の運営方法について検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	70,368	69,211	△ 1,157	65,650	65,650	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	70,368	69,211	△ 1,157	65,650	65,650		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32500	児童手当給付事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課税			款	3 民生費		基本分野	4 福祉・保健			
担当課	福祉部 子育て支援課		内線 2946	項	2 児童福祉費	実施計画事業	分野	2 児童福祉	H27実施計画額	千円	
	目	5 児童手当費		施策概要	3 安心して子育てができる環境の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか (意図)	児童の健全な育成及び子育て世帯の経済的支援	概要	事業の実施 手法(手段)	児童手当の給付 3歳未満 15,000円、3歳～小学生 第1・2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 10,000円、所得制限超 5,000円
	対象者数	13,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	児童手当の給付							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	受給者数(年度末)	人	目標値	9,000	9,000	9,000	8,900
		実績(見込)			9,177	9,098	9,000	
	算出根拠等			達成率(%)	102	101	100	
	活動指標	受給対象児童数(年度末)	人	目標値	13,000	13,000	13,000	12,000
		実績(見込)			12,350	12,197	11,940	
	算出根拠等			達成率(%)	95	94	92	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況		
次年度 の実施方針	担当課 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,625,191	1,586,044	1,640,931	1,602,554
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	131,594	130,036	126,225	123,273
	受益者	支給対象児童数	(B)	12,350	12,197	13,000	13,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・児童の健全な育成及び子育て世帯の経済的支援を目的とし、中学校修了前の子どもを養育している者に対して児童手当を給付 3歳未満 15,000円 3歳～小学生 第1・2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 10,000円 所得制限超 5,000円	要求の ポイント	事業 実施の 課題
------	--	-------------	-----------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	1,640,931	1,602,554	△ 38,377	1,570,931	1,570,931	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	1,138,363	1,111,529	△ 26,834	1,090,000	1,090,000		
	県支出金	250,813	244,979	△ 5,834	240,000	240,000		
	その他			0				
	一般財源	251,755	246,046	△ 5,709	240,931	240,931		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32510	児童扶養手当給付事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	4 やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市子どもにやさしいまちづくり計画	市長公約
	課			3 民生費	基本分野		4 福祉・保健				
担当課	福祉部 子育て支援課		内線 2946	項	2 児童福祉費	実施計画事業	分野	2 児童福祉	H27実施計画額	千円	
	目	5 児童手当費		施策概要	3 安心して子育てができる環境の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか (意図)	父又は母と生計を同じくしていない児童が養育されている家庭の生活の安定と自立の促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	児童扶養手当の給付 42,000円(所得に応じ減額や停止)
	対象者数	840 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	児童扶養手当の給付							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	受給者数(年度末)	人	目標値	700	700	700	700
		実績(見込)		689	691	700		
	算出根拠等			達成率(%)	98	99	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
		達成率(%)						
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
補足			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	328,077	317,625	340,070	340,109
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	397,188	408,258	404,845	404,892
	受益者	児童扶養手当受給者	(B)	826	778	840	840

5 予算編成(Action2)

事業内容	・父または母と生計を同じくしていない児童が養育されている家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、児童扶養手当を給付 42,000円(所得に応じ減額や停止)	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	340,070	340,109	39	330,070	330,070	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	113,333	113,333	0	110,000	110,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	226,737	226,776	39	220,070	220,070		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	32800	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	市長公約	
種別				款	3	民生費		基本分野	4	福祉・保健			
担当課	福祉部 子育て支援課			項	2	児童福祉費		分野	2	児童福祉			
	内線 2946			目	6	子育て世帯臨時特例給付金給付費		施策概要	3	安心して子育てができる環境の整備			
												実施計画事業	
												H27実施計画額	千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	児童及びその養育者	どうしたいのか (意図)	子育て世帯の負担軽減	概要	事業の実施 手法(手段)	子育て世帯臨時特例給付金の給付 中学生以下 3千円
	対象者数	12,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績							
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	対象児童数		人	目標値			12,000
		実績(見込)				11,400	
算出根拠等			達成率(%)			95	
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)		132,000	48,890
	受益者1件当たり(円)		(A/B)		11,000	4,074
	受益者	受給者	(B)		12,000	12,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	子育て世帯臨時特例給付金の給付 中学生以下(児童手当特例給付受給者を除く) 3千円	要求のポイント		事業実施の課題	
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		132,000	48,890	△ 83,110	47,500	47,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	132,000	48,890	△ 83,110	47,500	47,500		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	0	0	0	0		